



わたまえの未来をみんなで築こう!

渡前地区地域ビジョン

令和6年4月発行

○地域ビジョンの目的

日本全国で急速に進展している人口減少は、渡前地区においても深刻な問題となっています。地域コミュニティを維持し、渡前地区を持続的に発展させていくためにも、人口減少問題は避けて通れない重要な課題となっています。

そこで、長期的な展望のもとで、人口減少問題をはじめとする様々な課題に対応し、将来に向けて希望の持てる住民主体のまちづくりを行うため、渡前地区の皆様からご協力いただきアンケートの実施や、渡前地区各団体等から推薦された渡前地区地域づくりプロジェクトメンバーで幾度となく話し合いを重ね『渡前地区地域ビジョン』を策定する運びとなりました。

地域ビジョンとは、「渡前地区をこんなまちにしたい(将来像)」「どうやって実現するか(取組内容)」という思いを具体的に描いたものです。

今後は『渡前地区地域ビジョン』に基づいた事業を展開し、地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを進めていきます。

渡前地区に住み続けたいと思えるまちづくりを実現するために、地域の皆さんが一丸となって協力し合い住みよい地区になるように取り組んでいきましょう。

まちづくりに参加してくれる仲間を募集中!

地域ビジョン実現のためには、地域の皆さんの思いやアイデアと行動力が必要です。地域の方々や各町内会、各種団体等と一緒に事業計画を立て実行していきたいと思えます。そこで、一緒にまちづくりをしてくれる仲間を募集します!あなたのやってみたくて実現してみませんか。

渡前地区には、多方面で活躍されている人材がたくさんいらっしゃいます。10年後の明るい未来を目指して、共に頑張りましょう!



詳細は渡前地区自治振興会までお問合せ願います。

ここ10年の渡前地区12町内会人口統計

町内会	人口数		H25⇨R5 増減率	R5.3 高齢化率
	H25.3	R5.3		
東渡前	224	183	-18%	44.3%
西渡前	222	185	-17%	33.0%
和名川	124	92	-26%	44.6%
砂塚	46	37	-20%	45.9%
上藤島	283	266	-6%	29.7%
上荒俣	114	92	-19%	28.3%
中荒俣	135	96	-29%	49.0%
宝徳	128	95	-26%	46.3%
幕野内	108	116	7%	39.7%
大半田	299	253	-15%	28.9%
箕升新田	91	72	-21%	45.8%
柳久瀬	178	136	-24%	36.0%
合計	1,952	1,623	-17%	36.8%

【渡前地区地域づくり プロジェクトメンバー】

委員: 齋藤 泰宏・井上光昭・小野寺雅史・加藤正広・浅賀千佳子・丸山裕司
富樫聡・成澤ひとみ・武田壮一・菅原稔・神林守・成澤正人・齋藤敬子
富樫お輪・加藤幸子・押井身友希・高橋希・須貝高貴・小野寺見深
鶴岡市アドバイザー: 成澤征爾・成澤勇太
事務局: 近藤直志・齋藤聡・佐藤圭

お問合せ 鶴岡市渡前地区自治振興会

TEL 0235-64-2120 FAX 0235-64-2293

E-mail bz013999@bz03.plala.or.jp



基本目標

現状と課題

方向性

取組内容



1、子どもと大人、みんなが
顔なじみのわたまえ

○特色ある教育活動（海浜学校・獅子踊り・米作り等）が行われている。
○青少年やスポ少の育成活動が活発に行われている。
▲子どもの姿があまり見られない。
▲小・中学校卒業後は、保護者同士のつながりも薄れてくる。
▲行事への参加を負担に思っている人がいる。



2、お互いに手を差し伸べ
あえるわたまえ

○他者を温かく受け入れ、やさしく接しようとする雰囲気がある。
○困っている人に対して、手助けしている人も少なからず見られる。
▲一人暮らしや高齢者のみ世帯が増えている。
▲職や勤務形態が多様化し、顔を合わせる機会が減るとともに、近所同士の付き合いも減ってきている。



3、子育て世代が住みたく
なるわたまえ

○素敵な自然環境やのどかな田園風景の中で生活できる。
○短時間で市街地にアクセスできる。
▲子育て世代が気軽に交流できる場が少ない。
▲空家に関する情報が整理されていない。

◎地区のみんなで子ども達を育てていく。
◎多くの人が参加・交流できる事業を企画していく。



◎住民が気軽に集い、声を出し合える場を設けていく。
◎困っている人が気軽に頼んだり、そうした人を助けてあげたりするシステムをつくっていく。



◎わたまえならではの魅力を発掘、認識してもらえるようにしていく。
◎子どもも親ものんびり、ゆったりできる機会や場を設けていく。
◎受入れ可能な住宅情報を整理していく。

◎子どもたちに積極的に声かけ、挨拶をしていく。

◎要請に応じて子どもたちの活動に参加、協力する。

◎各世代の意見を取り入れ、参加したいと思える事業を工夫し、地区民の交流を図る。

◎お茶のみサロンやカフェ等、好きな時間を楽しみながら交流できるような場を設けていく。

◎お手伝いできる人や内容等（除雪や剪定、消毒、耕起等）の情報を収集し、ニーズに応じた人材を紹介できるような事業を行う。（登録制の有償・無償のボランティア）

◎移住者等が早期に地区に馴染み、定着できるよう、交流の機会や場を工夫する。

◎地区内外に向けて、わたまえ地区のよさや魅力を発信する。

◎子どもが定期的に遊べる場を提供し、併せて親同士も交流できるような場を設ける。

◎各町内会等の協力のもと、空家に関する情報（購入・借用の可否、問合せ先等）を希望者に提供できるよう、収集・整理していく。